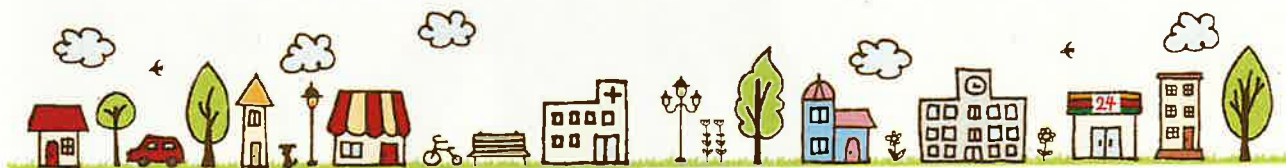
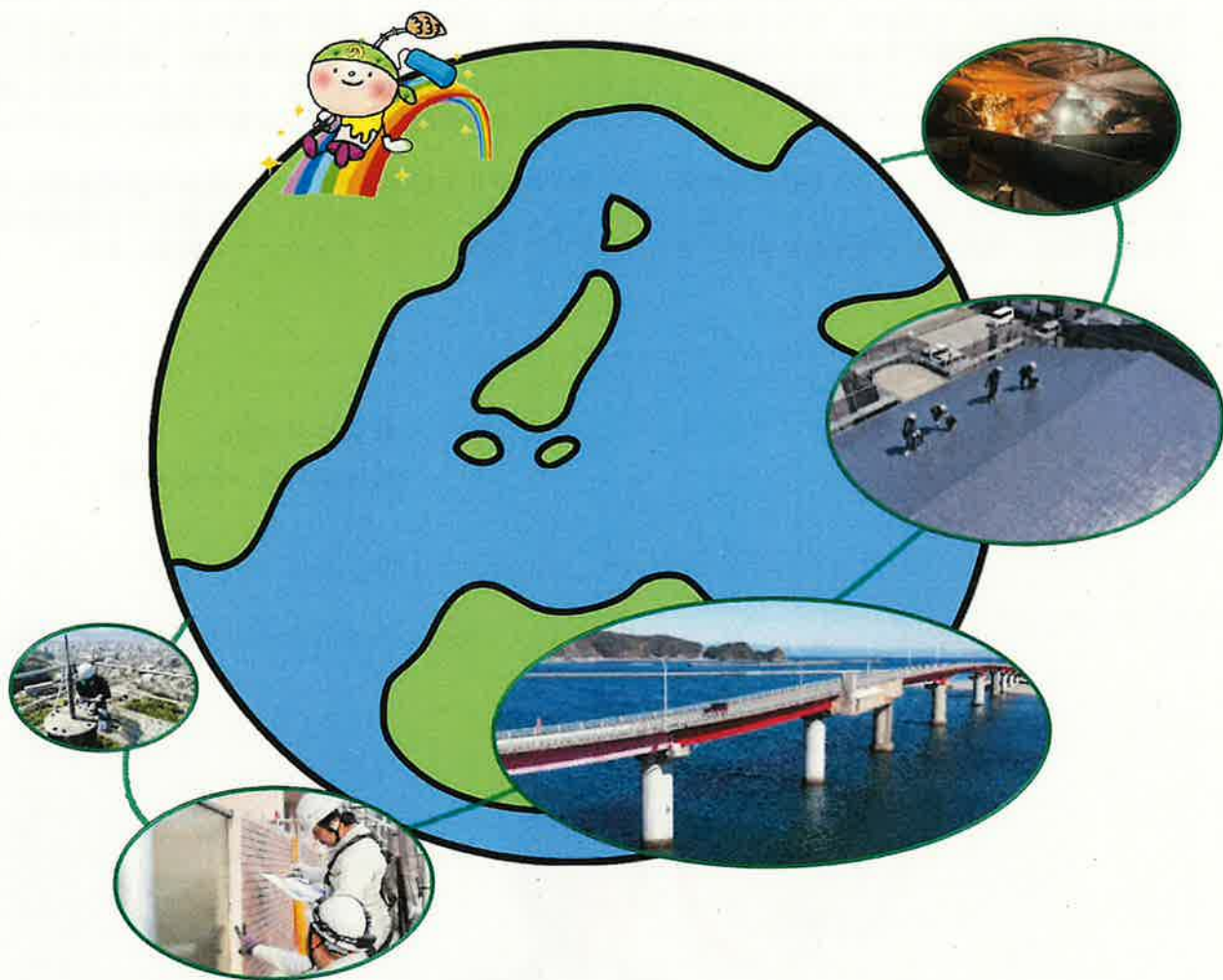


エコアクション21 環境経営レポート

対象期間： 2022年5月 ～ 2023年4月



発行日： 2023年12月26日

株式会社
のびる



エコアクション21
認証番号0013328

代表者の挨拶

経営理念

「感謝・創造・挑戦の心を常に持ち、

未来の夢に向かって人と共に成長し続ける企業として社会に貢献します。」

私は、もともと職人として若い頃から現場で経験を積んできました。そして平成16年に独立し、会社を立ち上げました。これまで、たくさんの人達に支えられ、助けられ、今まで続けてくることが出来ました。その期間、信頼できるパートナー、仲間達と出会い独立10年目という節目を機に「株式会社のびる」を設立致しました。この社名の由来はこの先もずっと光を浴びながら、まっすぐと上へと成長し続ける「つくし」をイメージし命名しています。緑は草原、赤は太陽をイメージし皆で成長していけたらと思っております。

今後、事業活動を行うにあたり、皆様の暮らしに豊かな彩りを提供させて頂き、高知県地域全体のグローバルリーダーを目指していきたいと思っております。また、事業活動を行う上で発生する環境負荷にも目を向け、環境活動を積極的に実践できる企業として貢献していくことをここに約束します。

株式会社のびる

代表取締役 公文将博



SDGsに向けた取り組み

SDGs達成に向けた経営方針等

地球環境に与える環境方針を定め、塗装・防水工事による環境への影響を考慮し、地域の環境保全に向けて、全従業員で自主的・積極的に環境保全に取り組み、継続的に環境負荷の削減に努め、自然環境との共生を計れるよう活動します。また、社員一人ひとりがその意味を十分に認知し、各自が職務を果たし、取り組む事で、SDGsの達成に貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2030年までに達成すべき目標 持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)

「こうちSDGs推進企業登録制度」への登録

SDGsの達成に向けた取り組みを行っている県内企業等について県が登録する制度で、県内においてSDGsへの取り組みをさらに促進させる目的があります。また、各登録推進者は「環境、社会、経済」の3側面への取り組み目標を掲げ事業活動を行っています。弊社もその動きに賛同し、一推進者として活動に取り組んでいます。

2030年に向けた目標

- ①事業活動におけるCO2総排出量の削減（CO2排出量5%削減）
- ②清掃活動による社会貢献（地域清掃活動の継続実施およびボランティア清掃活動への参加）
- ③若手従業員の新規雇用による平均年齢の引き下げ（従業員平均年齢の引き下げ）



登録証授与式の様子



高知県オリジナルロゴマーク

SDGs への取り組み内容

社内での取り組み

定期健康診断の実施
業務中の事故等を防ぐための定期的な労働安全衛生講習会の実施
高知県ワークライフバランス認定制度における認証の取得
資格取得支援制度を整備
有給休暇及び子育て休暇取得の環境を整備
社員の公正な待遇
社内での感染症等の予防対策 (会社室内に抗ウイルス等様々な効果を持つ自然派塗料を使用、高性能空気清浄機による24h清浄の実施など)
社内に防災士が在籍しており、避難計画や事前防災対策を策定
社内倉庫などに食料品等を備蓄
消費電気は100%再生可能エネルギーかつ高知県産を使用
クラウドサービスや資料の電子化など社内のデジタル化を推進

地域への取り組み

エコアクション21の取得 (毎年エネルギー利用量を把握し、環境負荷低減のためPDCAサイクルを実践)
ロードボランティアの実施
工事現場周辺の保育園の遊具の塗替え塗装の実施
津波防災避難タワーの清掃活動の実施
塗替え塗装工事の際、遮熱塗料の使用(室内の温度上昇の抑制と省エネ対策への貢献)
工事現場におけるコンプライアンス体制の徹底



対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

株式会社のびる全社・全組織・全従業員に適用

【環境経営レポート発行日】

2023年12月26日

【次回環境経営レポートの対象期間】

2023年5月から2024年4月

【次回環境経営レポートの発行日】

2024年10月頃

【作成責任者】

環境管理責任者 竹内慈永

目次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲（認証・登録範囲）	3
3. 環境経営方針	5
4. 環境経営目標（単年度及び中長期目標）	6
5. 環境経営計画	7
6. 環境経営目標と実績	8
7. 環境経営計画の取組結果とその評価	10
8. 次年度の環境経営計画の取組内容	11
9. 環境関連法規等の遵守状況と違反、起訴等の有無	12
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	13
11. 環境活動状況	14
12. その他活動状況	15

1. 組織の概要

事業所概要		
事業所名	株式会社のびる	
代表者	代表取締役	公文将博
事業所	本社	高知県高知市葛島4丁目10-10
	プロタイムズ高知中央店	高知県高知市高須新木3丁目39 NOBIRU II
担当者概要		
環境管理責任者	竹内慈永	
担当者及び連絡先	三木貴美	TEL : 088-821-8884
		FAX : 088-821-8885
		E-mail : nobiru58@alto.ocn.ne.jp
事業活動概要		
主な事業内容	塗装・防水工事業（新築・改修・修繕分野、調査等）	
事業詳細	<u>建築工事関連</u> 外壁・屋根塗装、マンション他大規模修繕、その他各種部分特殊塗装等、吹付け塗装、防水工事、調査業務（建物全般塗装・防水劣化診断、アスベスト含有調査等）	
	<u>土木工事関連</u> 鋼構造物塗装、有害物質除去（塗膜剥離他）、コンクリート修繕（ひび割れ補修、断面修復など）、その他付属物修繕工事、調査業務（塗膜含有成分、劣化診断調査等）	
許可番号	塗装工事業	高知県知事許可（般-I）第9717号
	防水工事業	高知県知事許可（般-I）第9717号
	宅地建物取引業	高知県知事許可（I）第2957号
事業規模	資本金	3,000千円
	従業員数	23人
ホームページURL	https://www.nobiru-kochi.com/	



のびる本社



プロタイムズ高知中央店（1階部）

沿革

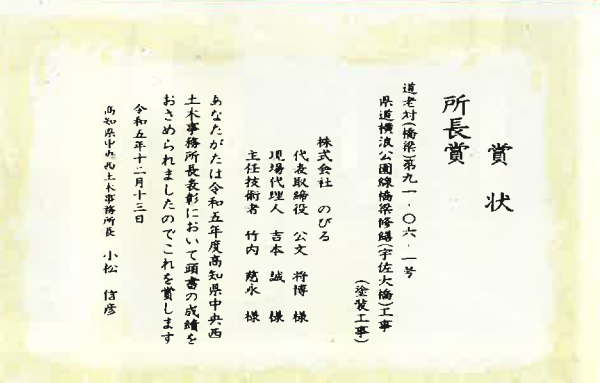
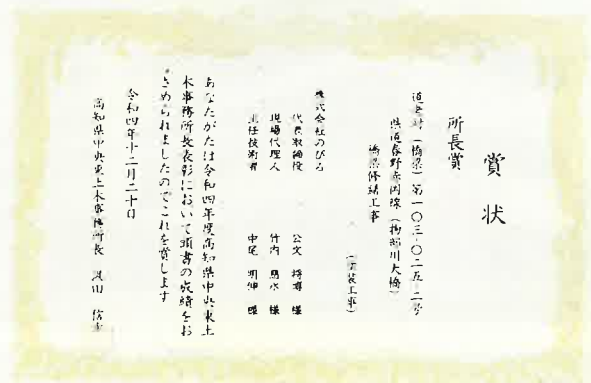
2004年 5月 8日	高知市五台山に公文塗装 創業
2013年 5月 8日	株式会社のびる 設立 高知市高須新木に社屋移転
2014年 10月 9日	建設業の許可取得
2016年 8月	地域貢献活動としてよさこい祭りへの参加開始
2018年 1月	高知市葛島4丁目10-10に新社屋 落成 移転
2019年 7月	「高知家」健康企業宣言認証取得
2019年 9月	高知県ワークライフバランス推進企業として認証取得 認証番号：第276(2)号
2020年 10月	宅地建物取引業者に登録
2021年 6月30日	エコアクション21 認証・登録 認証番号：0013328
2021年 11月	高知市高須新木にプロタイムズ高知中央店 開所
2021年 1月18日	高知県ふれあいの道づくり支援事業として ロードボランティアに認定
2022年 7月19日	こうちSDGs推進企業として登録 登録番号：213
2022年 12月20日	物部川大橋修繕工事で令和4年度高知県中央東土木事務所長表彰を受ける
2023年 8月	環境配慮型ブラストマシン マルチ・メディアブラストの導入
2023年 11月13日	工業用ドローン Matrice 350 RTKの導入
2023年 12月 5日	ブラスト施工技術研究会への加盟
	ブラスト施工技術研究会HP： https://www.blasting.jp/about
2023年 12月13日	宇佐大橋修繕工事で令和5年度高知県中央西土木事務所長表彰を受ける



マルチ・メディアブラスト設置状況



Matrice 350 RTK



高知県建設工事優良施工者表彰 表彰状（左：物部川大橋修繕工事 右：宇佐大橋修繕工事）

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

対象範囲（認証・登録範囲）

登録範囲は全事業所を対象とし、登録内容は事業内容とする。

(1) 実施体制表



(2)役割・責任・権限表



職制	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標、環境経営計画の承認 ・代表者による評価と見直し・指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・法規制等の要求事項の取りまとめを承認 ・環境経営目標、環境経営計画を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの作成・確認 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェック ・環境経営目標、環境経営計画案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
環境事務局	・環境管理責任者の補助 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
各部門長	・環境経営方針の周知 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・環境経営方針の理解、環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加



3. 環境経営方針

環境理念

株式会社のびるは、地球環境に与える環境方針を定め、塗装・防水工事による環境への影響を考慮し、地域の環境保全に向けて、全従業員で自主的・積極的に環境保全に取り組み、継続的に環境負荷の削減に努め、自然環境との共生を計れるよう活動します。

環境方針

- 1) 環境関連法規制等を遵守します。
- 2) 建設機械、車輛等の燃料使用量の削減による二酸化炭素の排出量を削減します。
- 3) 電力使用量の削減による二酸化炭素の排出量を削減します。
- 4) 廃棄物の発生抑制、削減、リサイクルを促進します。
- 5) 水使用量を削減します。
- 6) グリーン購入を促進します。
- 7) 環境を意識した塗料で地域社会に貢献していきます。
- 8) 環境に配慮した塗装・防水工事の施工を実施します。
- 9) 化学物質使用量の削減に努めます。
- 10) 社会貢献活動に積極的に取り組みます。
- 11) 環境経営方針を全従業員へ周知します。
- 12) 環境経営レポートを作成し公表します。
- 13) SDGsへの取り組みを推進します。



制定：2020年9月1日

株式会社のびる
代表取締役 公文将博

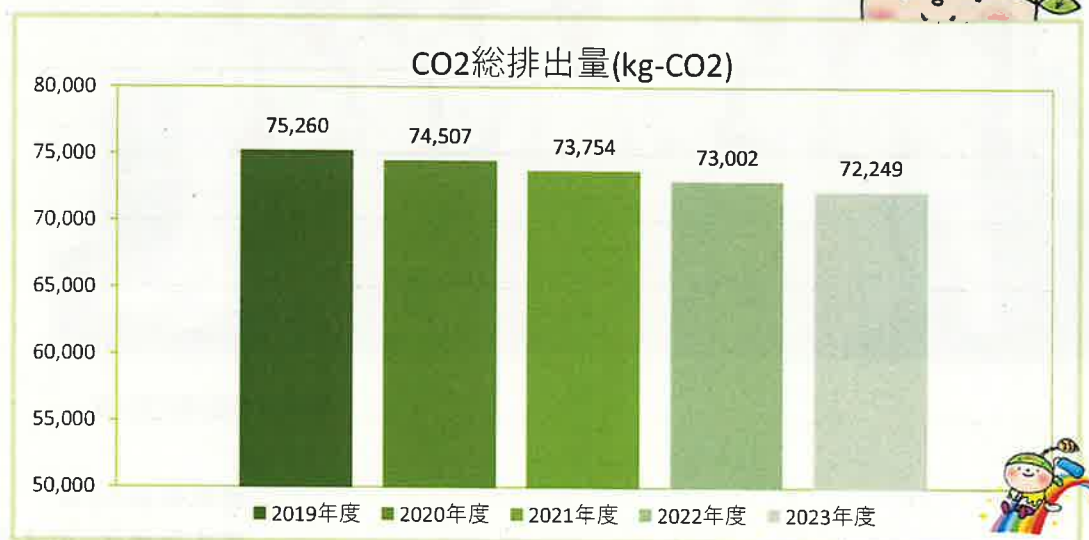
4. 環境経営目標（単年度及び中長期目標）

項 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	2019.5-2020.4	2020.5-2021.4	2021.5-2022.4	2022.5-2023.4	2023.5-2024.4
	基準年	目標（-1%）	目標（-2%）	目標（-3%）	目標（-4%）
目標売上高（万円）	45,364	50,000	55,000	60,000	65,000
二酸化炭素の削減					
CO2総排出量/kg-CO2	75,260	74,507	73,754	73,002	72,249
	基準値	-1.0%	-2.0%	-3.0%	-4.0%
電力使用量/kWh	10,063	9,962	9,862	9,761	9,660
	基準値	-1.0%	-2.0%	-3.0%	-4.0%
ガソリン/L	29,705	29,408	29,111	28,814	28,517
	基準値	-1.0%	-2.0%	-3.0%	-4.0%
軽油/L	91	90	89	88	87
	基準値	-1.1%	-2.2%	-3.3%	-4.4%
CO2総排出量 原単位評価	1.66	1.64	1.63	1.61	1.59
産業廃棄物排出量/kg	23,120	22,889	22,658	22,426	22,195
産業廃棄物再資源化率/%	80	81	82	83	84
一般廃棄物排出量/kg	分別の徹底と削減に努める。				
化学物質使用量/kg	574	568	562	557	551
環境配慮工事の実施/件	全件	全件	全件	全件	全件
社会貢献活動/回	3	4	4	4	4
水使用量/m ³	常に節水に努める				
グリーン購入	資材や消耗品の購入時にはグリーン購入に配慮する				

※1 CO2排出量の算出には、2019年購入事業者の排出係数を使用

※2 一般廃棄物量及びグリーン購入は目標値は定めないが、分別の徹底と削減に努める。

※3 社会貢献活動は、地域のボランティア、会社・現場周辺の清掃活動を実施する。



5. 環境経営計画

項目	具体的な取組内容	担当者
現場における重機・車両の使用によるCO2排出量削減	アイドリングストップ	現場責任者
	急発進・急ブレーキをしない	現場責任者
	タイヤ圧の点検、車両整備点検	現場責任者
	車両の安全走行、車両に無駄なものを積まない	現場責任者
電気使用におけるCO2排出量削減	こまめに電気を消す	三木貴美
	長時間使用しないものはコンセントを抜く	三木貴美
	エアコンの設定温度（暖房20℃、冷房28℃）	三木貴美
産業廃棄物排出量の削減	再生、再利用に努める	現場責任者
	現場内での分別	現場責任者
	塗料缶の適正処分	現場責任者
	適切な施工による産廃排出量の抑制	現場責任者
一般廃棄物排出量の削減	コピー用紙の裏紙を再利用する	三木貴美
	こまめな分別	三木貴美
	ごみの資源化	三木貴美
化学物質の管理	適切な取り扱い及び保管	現場責任者
	使用量の把握	現場責任者
総排水量の削減	節水	三木貴美
	水道栓閉め忘れ防止	三木貴美
	洗車用水の節約	宮本昌哉
グリーン購入	グリーン製品の優先使用	三木貴美
	詰め替え商品の購入	三木貴美
塗装・防水工事における	現場周辺への環境配慮	現場責任者
	騒音・汚濁防止	現場責任者
	低騒音・排出ガス対策型機械使用	現場責任者
	残塗料の適正処理	現場責任者
社会貢献活動	現場周辺の清掃活動	現場周辺
	会社周辺の清掃活動	藤丸大輔
	ロードボランティアへの参加、地域貢献の実施	藤丸大輔



6. 環境経営目標と実績



《単年度の目標値と実績値の比較》

項 目	2019年度 2019.5-2020.4	2022年度 2022.5-2023.4		目標と実績の差 (増減)	達成率 (%)	評価
	基準年	目標 (-3%)	実績			
売上高 (万円)	45,364	60,000	61,923	1,923	103	○
二酸化炭素の削減						
CO2総排出量/kg-CO2	75,260	73,002	65,159	- 7,843	112	○
	基準年比	-3.0%	-13%			
電力使用量/kWh	10,063	9,761	15,752	+ 5,991	62	×
	基準年比	-3.0%	56.5%			
CO2排出量/kg-CO2	6,108	6,292	4,170	- 2,123	151	○
ガソリン/L	29,705	28,814	25,295	- 3,520	114	○
	基準年比	-3.0%	-14.8%			
CO2排出量/kg-CO2	68,917	70,985	58,683	- 12,302	121	○
軽油/L	91	88	894	+ 806	10	×
	基準年比	-3.3%	882.1%			
CO2排出量/kg-CO2	235	243	2,306	+ 2,063	11	×
原単位評価 総排出量 kg-CO2/万円	基準値	1.61	1.05	- 0.56	153	○
産業廃棄物排出量/kg	23,120	22,426	32,105	+ 9,679	70	×
産業廃棄物再資源化率/%	80.1	83.0	82.1	- 1	99	△
一般廃棄物排出量/kg	分別削減に努める	分別削減に努める	分別削減に努めた	-	-	-
化学物質使用量/kg	574	557	34	- 523	1621	○
環境配慮工事の実施/件	全件	全件	全件	-	100	○
社会貢献活動/回	3	4	13	+ 9	325	○
水使用量/m ³	節水に努める	節水に努める	節水に努めた	-	-	-
グリーン購入	配慮する	配慮する	配慮した	-	-	-

○達成率 (%) = 目標値/実績値 × 100 (100%以上で目標達成)

○目標達成の評価: ○; 達成できた (達成率100%以上)

△; 達成できなかったがもう少し (達成率85%以上100%未満)

×; 達成ができなかった (達成率85%未満)

○電力のCO2排出係数は、アスエネ株式会社 (0.0kg-CO2/kWh)、四国電力 (0.433kg-CO2/kWh) を使用。

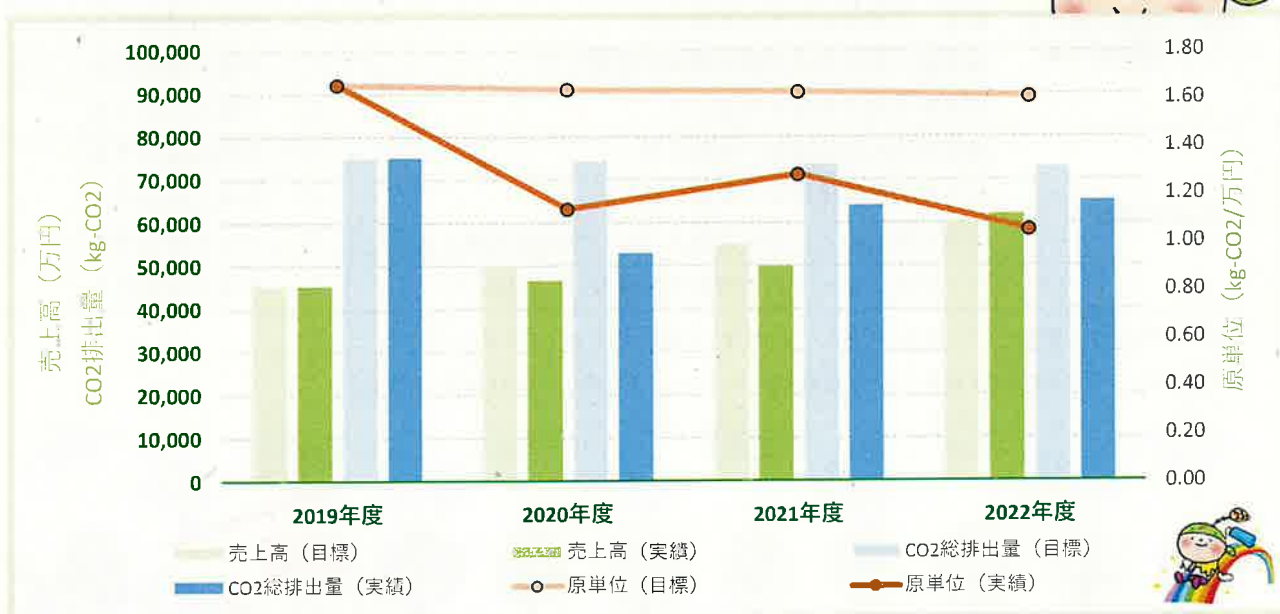
CO2総排出量について

排出量の削減目標を大幅に達成することが出来た。

達成できた要因としては、電気契約の見直しと工事件数の数が少なくなったことが関係している。特に、電力使用量と軽油使用量が目標値以上に消費してしまっているが、電力に関してはCO2排出に配慮された供給事業者を利用していたため、CO2排出目標値に貢献することが出来ている。ガソリン使用量も現場数が減ったこともあるが、現場へ向かう際は出来るだけ乗り合わせをする事の他にアイドリングストップを心がけるなど実施したことも削減につながったと考えられる。

《実績値の推移（原単位追加）》

項 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	2019.5-2020.4	2020.5-2021.4	2021.5-2022.4	2022.5-2023.4
売上高（万円）	45,364	46,618	49,898	61,923
二酸化炭素の削減				
C02総排出量/kg-C02	75,260	53,034	64,003	65,159
電力使用量/kWh	10,063	9,894	12,519	15,752
C02排出量/kg-C02	6,108	6,006	3,116	4,170
ガソリン/L	29,705	19,751	25,614	25,295
C02排出量/kg-C02	68,917	45,822	59,425	58,683
軽油/L	91	468	567	894
C02排出量/kg-C02	235	1,206	1,462	2,306
原単位評価 kg-C02/万円	C02総排出量	1.66	1.14	1.28
	電力使用量	0.13	0.13	0.06
	ガソリン	1.52	0.98	1.19
	軽油	0.01	0.03	0.03
産業廃棄物排出量/kg	23,120	56,173	77,760	32,105
産業廃棄物再資源化率/%	80.1	90.4	97.0	82.1
一般廃棄物排出量/kg	— 分別削減に努めた			
化学物質使用量/kg	574	136	232	34
環境配慮工事の実施/件	全件	全件	全件	全件
社会貢献活動/回	3	4	14	13
水使用量/m ³	節水に努める	節水に努めた	節水に努めた	節水に努めた
グリーン購入	配慮する	配慮した	配慮した	配慮した



7. 環境経営計画の取組結果とその評価

《期間》 2022年5月から2023年4月

項目	取組結果	評価 今後の取組へのコメント
現場における重機・車両の使用によるCO2排出量削減	アイドリングストップを実行できた	○ 今後も継続する
	急発進・急ブレーキをしないようにできた	○ 今後も継続する
	タイヤ圧の点検、車両整備点検を実施した	○ 今後も継続する
	車両の安全走行、車両に無駄なものを積まないよう実行した	○ 今後も継続する
電気使用におけるCO2排出量削減	こまめに電気を消すことを実行した	○ 今後も継続する
	長時間使用しないものはコンセントを抜くようにした	○ 今後も継続する
	エアコンの設定温度（暖房20℃、冷房28℃）を実行した	○ 今後も継続する
産業廃棄物排出量の削減	再資源化率の割合が増加した	○ 今後も継続する
	現場内での分別に取り組めた	○ 今後積極的に取組む
	産廃排出量が増加した	× 今後積極的に取組む
	塗料缶を廃棄する際、ヘラ等を用いて綺麗にした後廃棄した	○ 今後も継続する
一般廃棄物排出量の削減	コピー用紙の裏紙を再利用した	○ 今後も継続する
	こまめな分別を実施した	○ 今後も継続する
	ごみの資源化を実施した	△ 今後積極的に取組む
化学物質の管理	適切な取扱い及び保管を実施した	○ 今後も継続する
	使用量の正確かつ適正な管理を徹底した	○ 今後も継続する
総排水量の削減	現場の水洗い作業に水を使用し節水ができなかった	× 今後積極的に取組む
	水道栓の閉め忘れはなかった	○ 今後も継続する
	洗車用水の節約を実施した	○ 今後も継続する
グリーン購入	グリーン製品を優先的に使用した	○ 今後も継続する継続する
	詰め替え商品を購入した	- 今後積極的に取組む
塗装・防水工事における環境配慮工事	現場周辺への環境を配慮した施工を実施した	○ 今後も継続する
	騒音・汚濁防止対策を実施した	○ 今後も継続する
	低騒音・排出ガス対策型機械を使用した	○ 今後も継続する
	残塗料の適正処分を実施した	○ 今後も継続する
社会貢献活動	現場周辺の清掃活動を実施した	○ 今後も継続する
	会社周辺の清掃活動を実施した	○ 今後も継続する
	地域貢献として、津波避難タワーの清掃等実施した	○ 今後も継続する
	ロードボランティアへの参加を毎月1回実施した	○ 今後も継続する

○取組結果に対する評価： ○；十分にできた、△；努力・改善が必要、×；できなかった

※評価は、環境管理責任者が会議により各現場担当にヒアリングを実施したものを反映している。



8. 次年度の環境経営計画の取組内容

項目	具体的な取組内容	担当者
現場における重機・車両の使用によるCO2排出量削減	アイドリングストップ	全社員
	急発進・急ブレーキをしない	全社員
	タイヤ圧の点検、車両整備点検	全社員
	車両の安全走行、車両に無駄なものを積まない	工事部・現場責任者
電気使用におけるCO2排出量削減	こまめに電気を消す	総務部
	長時間使用しないものはコンセントを抜く	総務部
	エアコンの設定温度（暖房20℃、冷房28℃）	総務部
産業廃棄物排出量の削減	再生、再利用に努める	工事部・現場責任者
	現場内での分別	工事部・現場責任者
	適切な施工による産廃排出量の抑制	工事部・現場責任者
	塗料缶の適正処分	工事部・現場責任者
一般廃棄物排出量の削減	コピー用紙の裏紙を再利用する	総務部
	こまめな分別	総務部
	ごみの資源化	総務部
化学物質の管理	適切な取り扱い及び保管	工事部・現場責任者
	使用量の把握	工事部・現場責任者
総排水量の削減	節水	全社員
	水道栓閉め忘れの防止	総務部
	洗車用水の節約	工事部・現場責任者
グリーン購入	グリーン製品の優先使用	総務部
	詰め替え商品の購入	総務部
塗装・防水工事における環境配慮工事	現場周辺への環境配慮	工事部・現場責任者
	騒音・汚濁防止	工事部・現場責任者
	低騒音・排出ガス対策型機械使用	工事部・現場責任者
	残塗料の適正処分	工事部・現場責任者
社会貢献活動	現場周辺の清掃活動	工事部・現場責任者
	会社周辺の清掃活動	総務部
	その他、地域貢献活動に取り組む	工事部・現場責任者
	ロードボランティアへの参加	総務部
SDGsへの取り組み	各目標における活動の実施と確認、活動への理解促進	総務部

9. 環境関連法規等の遵守状況と違反、起訴等の有無

確認日：2023年12月1日

法規名	適用条項	規制内容	点検頻度 測定時期	確認者	評価
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	第3条	事業者の責務・事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理すること	必要時	現場担当者	○
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理	工事ごと 6月30日までに	現場担当者	○
	第12条2項	産廃保管場所に提示（60cm*60cm以上）		現場担当者	○
	第12条5項	産業廃棄物の運搬及び処分の委託契約		環境管理責任者	○
	第12条2 2項	特別管理産廃保管場所に提示（60cm*60cm以上）		現場担当者	○
	第12条2 5項	特別管理産業廃棄物の運搬及び処分の委託契約		環境管理責任者	—
	第12条2 10項	多量排出事業者は減量化計画を作成し、知事又は高知市長に提出		現場担当者	—
	第12条3 1項	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付及び保管		環境管理責任者	○
建設工事に係る資 材の再資源化	第12条	発注者に対する分別解体等の計画等に係る事項についての説明	必要時	環境管理責任者	○
	第16条	特定建設資材廃棄物の再資源化実施義務		環境管理責任者	○
騒音規制法	第5条	騒音規制基準の遵守	必要時	現場担当者	—
	第14条	特定建設作業の実施の届け出（建設作業開始7日前までに市町村長に届出）		現場担当者	—
振動規制法	第5条	振動規制基準の遵守	必要時	現場担当者	—
	第14条	特定建設作業の実施の届け出（建設作業開始7日前までに市町村長に届出）		現場担当者	—
労働安全衛生法	第14条	特定化学物質作業主任者の選任	必要時	現場担当者	○
	第101条第2項	労働者に対する化学物質のSDS周知		現場担当者	○
特定化学物質の環 境への排出量の把 握及び管理の改善 の促進に関する法 律	第5条	特定化学物質の排出量、使用量の把握	工事ごと	環境管理責任者	○
建築基準法施行令	第20条7	ホルムアルデヒドの使用制限	工事ごと	現場担当者	—
悪臭防止法	第4条	特定臭気物質の規制基準	工事ごと	環境管理責任者	○
フロン排出抑制法	第16条	第一種特定製品についての簡易点検の実施	定期的に	環境管理責任者	○
高知県環境基本条 例	第6条	事業者の責務	工事ごと	環境管理責任者	○
		公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理			
高知市環境基本条 例	第5条	事業者の責務	工事ごと	環境管理責任者	○
		公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理			

○環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2022年5月1日～2023年4月30日までの活動期間中、環境関連法規等への違反、訴訟等はありませんでした。

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

確認日：2023年12月1日

見直しに必要な情報 (環境管理責任者からの報告及び改善提案)				代表者による見直し (変更の必要性の有無・指示事項)	
【取組状況の評価結果】				【環境経営の方針】	
①環境関連法規等の遵守状況 現在のまま厳守を継続していく。				変更の必要性 ☐ : 有 ☒ : 無 現行の環境経営方針を継続する。	
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 現在のまま厳守を継続していく。					
③前回までの代表者の指示事項への対応 社内への取り組み内容のさらなる浸透の為、積極的に協議し事業活動に取り組んだ。 《改善提案》 環境経営計画や目標の見直し、次年度に取り組む活動をより効果的にしていくよう更に協議していく。				【環境経営計画・環境経営目標】 変更の必要性 ☐ : 有 ☒ : 無 掲げている目標に対して、引き続き活動を続けるようにする。	
【環境目標達成状況及び環境活動計画取組状況】				【実施体制】	
項目	目標 達成状況	経営計画 取組状況	コメント	変更の必要性 ☐ : 有 ☒ : 無 特になし。	
C02排出量の削減	○	○	今後も継続する。		
電力使用量の削減	×	○	支店や現場事務所での節電などに取り組み使用量に注意する	【総括】	
C02排出量の削減	○			1. 目標値や計画の修正を視野に入れ、活動をより効果的にしていくようにする。	
ガソリン使用量の削減	○	○	今後も引き続き取り組む。	2. 事務所での節電などは、今後も引き続き継続する。	
C02排出量の削減	○			3. 環境配慮工事について、引き続き取り組む。	
軽油使用量の削減	×	○	現場機械のアイドリングストップ等に取り組む	4. 引き続き社員全員で環境への意識及び取組を活発化するよう工夫する。	
C02排出量の削減	×			5. 引き続き全社員でエコアクション21の活動に取り組む。	
水使用量の削減	—	△	もっと現場作業での節水を心がける	6. 引き続きSDGs活動に積極的に取り組む。	
産業廃棄物排出量の削減	×	△	必要最低限の排出に尽力する		
一般廃棄物排出量の削減	—	○	今後も分別削減に取り組む。		
化学物質の管理	○	○	必要最低限の使用に尽力する		
グリーン購入	—	○	引き続き配慮する。		
環境配慮工事实施	○	○	今後も引き続き取り組む。		
社会貢献活動	○	○	今後も引き続き取り組む。		
【環境関連法規類の遵守状況】					
遵守状況 ☒ : 遵守できた ☐ : 遵守できなかった					
【外部からの環境に関する苦情や要望】					
苦情の有無 ☐ : 有 ☒ : 無					
代表者自ら得た情報					
特になし				代表取締役 公文将博	

11. 環境活動状況

《社会貢献活動：ロードボランティア実施状況》

昨年に引き続き、2022年5月～2023年4月の1年間で計12回実施しました。



《社会貢献活動：香南市津波避難タワー清掃実施状況》

2022年2月に実施しました。



《社会貢献活動：吉川みどり保育園遊具塗替え塗装実施状況》

2022年2月に実施しました。



当時、土佐市に寄付された際に塗装を手掛けた職人さんに親子で塗替えをしていただきました。

土佐市役所や土佐市の地域の皆様にも喜んでいただきました。



12. その他活動状況





エコアクション21
認証番号0013328



KOCHI SDGs

塗装・防水・リフォーム

株式会社

 **のびる**
NOBIRU CO., LTD.

のびる 塗装

検索



これからも私達、
エコアクション21認証登録企業として、また、高知県SDGs推進企業としても
環境への取組を促進し、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいきます。

株式会社のびる一同

